2009 年度　塩原良和研究会　選考レポート課題

以下の課題について論じなさい。

　あなたがこのゼミに入ってから研究してみたいテーマについて、詳しく説明しなさい。ただし、以下のリストにある文献を最低ひとつ読み、その内容と関連づけながら論じること（読んだ文献名を明記してください）。また、その研究テーマがあなた自身の卒業後の進路にどのように関係してくるのかも説明すること。

＜文献リスト＞

・塩原良和『ネオ・リベラリズムの時代の多文化主義――オーストラリアン・マルチカルチュラリズムの変容』三元社、2005 年
・関根政美・塩原良和編『多文化交差世界の市民意識と政治社会秩序形成』慶應義塾大学出版会、2008 年
・ガッサン・ハージ（塩原良和訳）『希望の分配メカニズム――パラノイア・ナショナリズム批判』御茶の水書房、2008 年
・ガッサン・ハージ（保苅実・塩原良和訳）『ホワイト・ネイション――ネオ・ナショナリズム批判』平凡社、2003 年
・鶴本花織・西山哲郎・松宮朝編『トヨティズムを生きる――名古屋発カルチュラル・スタディーズ』せりか書房、2008 年
・青木保ほか編『シリーズ　アジア新世紀　第 7 巻　パワー――アジアの凝集力』岩波書店、2003 年
・有末賢・関根政美編『戦後日本の社会と市民意識』慶應義塾大学出版会、2005 年
・保苅実『ラディカル・オーラル・ヒストリー』御茶ノ水書房、2004 年
・テッサ・モーリス＝スズキ・吉見俊哉編『グローバリゼーションの文化政治』平凡社、2004 年
・倉沢愛子ほか編『岩波講座アジア・太平洋戦争８　20 世紀の中のアジア・太平洋戦争』岩波書店、2006 年
・伊豫谷登士翁編『移動から場所を問う――現代移民研究の課題』有信堂高文社、2007 年
・渡戸一郎・鈴木江理子・APFS 編著『在留特別許可と日本の移民政策――「移民選別」時代の到来』明石書店、2007 年
・『シリーズ　多言語・多文化協働実践研究』（１～６）東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター、2008 年（http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/publication_01.html）

字数：5000 字～6000 字（MS Word またはそれと互換性のあるワープロソフトで、A４判で作成すること）
提出方法：電子メールで塩原まで提出してください。
　　電子メールアドレス：shiobarayoshikazu@hotmail.com
提出期限：2009 年 3 月 18 日（水）23 時 59 分までに必着
　　※期限を過ぎた後は一切受け付けません。
　　※受け取ったら返事をしますので、3 月 19 日までに塩原からの返信がない場合は必ずメールまたは FAX（045-350-4840）で問いあわせてください。
面接：レポートを提出した方は、統一選考の際に面接を行いますので、指定された日時・教室に集合してください。

＜問いあわせ先＞
塩原良和　shiobarayoshikazu@hotmail.com